

教育委員会会議 平成27年12月定例会 会議録

日 時	平成27年12月24日 (木) 13:30 開会 14:45 閉会	会 場	教育委員会室
出席委員	真木 源 長江 真理子 森 尚美 寺元 貴幸	田村 芳倫	
出席職員	和田学校教育部長 松尾生涯学習部長 忠政こども保健部長		
	戸田学校教育部次長(兼)企画調整官(兼)教育総務課長 朝田生涯学習部企画調整官		
	分部学校教育部次長(兼)学校施設課長 後藤生涯学習部次長(兼)スポーツ課長		
	織田こども保健部次長(兼)こども課長 松本学校教育課長		
	尾高保健給食課長 峪川生涯学習課長 谷口図書館長		
	小坂田文化課長 尾島津山市史編さん室長 平岡歴史まちづくり推進室主幹		
	仁木教育総務課主査 芦田教育総務課主査		
議 事	案 件	担 当 課	
1.開 会			
2.委員長あいさつ			
3.会議録署名者 について			
4.前会会議録の 承認			
5.教育長等の 報告			
6.議 事			
(1)議 案	平成28年度津山市立図書館の休館日について 津山市立田邑幼稚園の休園について 津山市城東伝統的建造物群保存地区保存計画の変更について	(図 書 館) (こ ど も 課) (歴史まちづくり推進室)	
(2)報 告	津山市議会12月議会答弁について 平成27年度全国体力・運動能力・運動習慣等調査結果について	(各 課) (学 校 教 育 課)	
7.その他			
(1)各課からの お知らせ	岡山県指定重要文化財の指定について 第4次津山市生涯学習推進計画(案)に関するパブリックコメント募集について	(文 化 課) (生 涯 学 習 課)	
(2)次回定例会の 開催について	津山市教育委員会会議1月定例会の日程について 平成28年1月28日(木)午後1時30分から		
(3)その他			
8.閉会			

傍聴者 0名

教育委員会会議 平成 27 年 12 月定例会 会議録

(13 : 30)

1. 開 会

2. 委員長あいさつ

3. 会議録の署名者の件について

津山市教育委員会会議規則第 15 条 2 項の規定による。

4. 前会会議録の承認

全員賛成

5. 教育長等の報告

今回は該当なし

6. 議事

(1) 議案

平成 28 年度津山市立図書館の休館日について (図書館)

概要説明

津山市立図書館条例施行規則第 3 条の規定により、平成 28 年度の津山市立図書館の休館日を定めるもの。図書館の休館日は、館内整理日 (1 月につき 1 日の教育委員会が定める日) ばく書期 (10 日以内で教育委員会が定める日) 及び別表第 1 に定める日となっている。本館、加茂町図書館、勝北図書館、久米図書館の休館日については、資料 P3 のとおり。

全員の挙手により原案通り可決承認

津山市立田邑幼稚園の休園について (こども課)

概要説明

津山市立田邑幼稚園については、平成 28 年 3 月 31 日付で休園とするもの。休園とする理由として、昨年度からの経過と今年度の状況を説明する。津山市立田邑幼稚園は、平成 26 年 11 月から、平成 27 年度の園児募集を行った結果、新たに入園を希望する幼児が 1 名のみであり、平成 27 年度の総園児数が、在園児 2 名と合わせて 3 名となった。平成 27 年度の幼稚園の運営について、平成 27 年 1 月、2 月に保護者等と話し合い、集団教育を確保するために、緊急避難的な措置として、津山市立鶴山幼稚園との合同保育 (原則週 1 回程度及び、運動会、生活発表会の合同開催) を実施しながら、運営することとした。上記の運営を行いながら、平成 27 年 7 月に在園児の保護者との面接及び平成 28 年度の入園希望者の状況把握を行ったところ、平成 28 年度の園児数見込みが 5 名以下であったため、市の方針に基づき、平成 28 年度の園児募集停止及び平成 27 年度末での休園の方向で、平成 27 年 8 月、9 月に保護者・地域と協議した。保護者・地域との協議を行った結果、園児募集実施の要望が強かったため、園児募集は実施することとした。ただし、募集の結果、平成 28 年度の総園児数が 5 名以下であれば休園とすることで保護者・地域との合意を得ていた。平成 27 年 11 月の園児募集の結果、平成 28 年度の総園児数が 3 名となったため、平成 27 年度末での休園の方向が固まり、入園申込のあった保護者及び地域に説明を行い、了承を得ている。入園希望の保護者には、新しい入園先についての説明、協議を行い、3 名とも、二宮幼稚園への入園を希望し、入園願書を提出している。

全員の挙手により原案通り可決承認

津山市城東伝統的建造物群保存地区保存計画の変更について (歴史まちづくり推進室)

概要説明

津山市城東伝統的建造物群保存地区保存計画について、平成 25 年 2 月 26 日告示、平成 26 年 12 月 24 日の変更告示以降に新たに伝統的建造物の特定に同意が得られた建造物を保存計画に追加で掲載し、保存計画を変更するもの。従前より、新たに伝統的建造物の特定に同意が得られた建造物を保存計画に追加記載することにより伝統的建造物として確定すると共に、固定資産税の非課税措置等が受けられるこ

ととなるため、保存計画を変更告示するもの。前回の変更告示以降、これまでに同意の得られている建造物について保存計画の変更告示を行うもの。変更告示により、国として建物の固定資産税の非課税措置、市条例での土地の固定資産税の減免措置等をおこなうもの。今年度は2件あり、対象物件及び位置の詳細は資料P12からP15のとおり。

全員の挙手により原案通り可決承認

(2) 報告

津山市議会 12月議会答弁について（各課）

(学校教育部)

概要説明

各課からとあるが、部単位で報告する。平成27年12月議会は11月30日開会、一般質問は12月7日から11日までの間行われ、24人の議員から質問があった。12月22日閉会となっている。学校教育部には、7議員31項目の質問があった。主な質問内容は、教育における郷土愛の育成として総合計画では、学力向上などが明記されているが、ふるさとを愛する人材育成についても取り組んでいただきたく教育長の考えについて、つながる子育て・教育行政に関して津山の教育のバックボーンについて、防災・減災について小中学校における防災教育の現状はどうなっているのか、様々な学校課題への対応について教育委員会に学校相談室というような部署を設置する検討をしてみようか、自転車による重大事故が発生している中、小中学生の頃よりその危険性を理解させる取組についてどう考えているか、食育授業の実態はどうなっているか、学校給食費の無償化は貧困対策として有効な対策であり、真剣に調査研究すべきであるため再度決意を等の質問があった。(以上の質問に係る答弁を資料により説明)

(生涯学習部)

概要説明

質問内容は、津山市第5次総合計画について岩屋城を国史跡指定に向けた調査に着手してほしい、市民目線の美術館の早期実現をめざしてほしい、青柳射撃場の経過と現状について、定住推進に関して奨学金返還金補助制度の取り組みについて、グリーンヒルズ津山の今後のありかたとしてグラスハウスの来年度以降の継続について、青少年の健全育成に関して津山市の非行率について、グラウンド・ゴルフ場をグリーンヒルズ内に建設してはどうか、方言の継承と普及を図る目的で岡山県条例の制定に対して意見書を提出してはどうか、津山方言議会を開催する条例の制定を議論してはどうか、津山城を中心にして、どのような「まちづくり」をしていこうと考えているのか、津山城郭の堀には京橋門をはじめ門が数個あったが、この門の場所はどのようになるのか等の質問があった。(以上の質問に係る答弁を資料により説明)

(こども保健部)

概要説明

こども保健部は2人の議員から質問があった。つながる子育て・教育行政について津山市として子どもたちのこの時期に対してどのような施策を、どのような意図で実施されているか、現在の公立幼稚園を2園に集約する見直しによって就学前教育の水準が保たれるのか、文部科学省管轄の幼稚園と厚生労働省管轄の保育園では成り立ちが違うが、このギャップを克服するため、津山市としてどのように取り組んでいるか、スムーズに小学校教育に移行できるように、幼稚園・保育園は小学校とつながっているのか、再構築計画では公立幼稚園としての機能や役割をどのように果たして行こうとしているか、幼稚園のPTAからどのような要望が出されているか、未来を担う子どもたちには大人が責任を持って良い環境を市民的な合意の元に作り上げていただきたいがどうか等の質問があった。(以上の質問に係る答弁を資料により説明)

(都市建設部)

概要説明

都市建設部歴史まちづくり推進室では、2人の議員から質問があった。歴史まちづくりと観光について洋学資料館とその隣の工場用地を上手に活用して、20年前の匠の町構想をもう一度考え直してみようか、城東地区の駐車場確保の現状と今後の見通しはどうなっているかとの質問があった。(以上の質問に係る答弁を資料により説明)

平成 27 年度全国体力・運動能力・運動習慣等調査結果について（学校教育課）

概要説明

岡山県教育委員会は、平成 27 年度全国体力・運動能力・運動習慣等調査結果を先般、新聞報道等により公表した。詳細なデータが届いていないため、概要のみとなるが、津山市の結果を報告する。調査は、小学校 5 年生及び中学校 2 年生を対象に、握力、反復横とび、50M 走、ボール投げ、立ち幅跳び等 8 種目についての調査が 1 学期に実施された。津山市の状況は資料 P45 のとおり、8 種目の中で白抜きの数字が国と県を上回っているもの、色を塗っているものが国を上回っているもの、二重線があるのが県を上回っているものとなっている。体力合計点は 8 種目の成績を 1 点から 10 点に得点化して総和した合計点であり、津山市は国の数値を全て上回っており、県の数値も小学校の男子以外は全て上回って、概ね良好な状況である。

7. その他

(1) 各課からのお知らせ

岡山県指定重要文化財の指定について（文化課）

概要説明

平成 27 年 12 月 18 日に開催された岡山県教育委員会に於いて、岡山県指定重要文化財として、津山市内の遺跡が指定されることが決定した。名称は^{おおぞういけみなみ}大蔵池南製鉄遺跡、所在地は津山市神代地内である。発見当時、操業年代が古墳時代までさかのぼる製鉄炉が日本で初めて確認されたもので、我が国の製鉄史研究を大きく前進させた遺跡である。昭和 55 年に実施された発掘調査によって、鉄生産に伴う 7 つの作業面と 6 基の製鉄炉跡が検出されている。遺跡の重要性から保存要望がなされ、現地に遺跡が保存されている。正式には平成 28 年 1 月下旬に指定となる。この指定をもって津山市の県指定文化財は 31 件となる。

第 4 次津山市生涯学習推進計画(案)に関するパブリックコメント募集について（生涯学習課）

概要説明

今年度が第 3 次津山市生涯学習推進計画の最終年となることから、計画期間を平成 28 年度から 10 年間とする第 4 次津山市生涯学習推進計画(案)の作成を行った。この計画(案)について 12 月 28 日から 1 ヶ月間、パブリックコメントの募集を実施する。教育委員の皆さまからも次回の教育委員会でご意見を賜りたい。

(2) 次回定例会の開催について

教育委員会会議 1 月定例会を、平成 28 年 1 月 28 日(木)午後 1 時 30 分から開催。
全員賛成により決定。

(3) その他(なし)

8. 閉会

(14 : 45)